

安倍首相の改憲に立ち向かう

市民 大学習会

渡辺 治 です

一橋大学名誉教授
九条の会事務局

私がお話します



安倍首相は、支持率がどんなに下がろうが、都議選で惨敗しようが、2020年憲法改正の執念は捨てていません。まったく油断の出来ない状況が続きます。そこで、どうすれば「安倍改憲」をストップできるか、秋の憲法運動を旺盛に展開するための大学習会を企画しました。大勢のみなさんの参加をお待ちしています。

渡辺 治さんプロフィール

一橋大学名誉教授。1947年東京生まれ。東京大学法学部卒業。東京大学社会科学研究所助手、助教授を経て、1990年より2010年まで一橋大学教授。専門は、政治学、憲法学。2004年「九条の会」発足時から事務局。著書・論文には共編著『日米安保と戦争法に代わる選択肢』（大月書店）、『現代史の中の安倍政権－憲法・戦争法をめぐる攻防』（かもがわ出版）、共著『大国への執念－安倍政権と日本の危機』（大月書店）、ほか多数。

入場 無料

9月14日(木)

開場 18:00
開会 18:30

埼玉会館 小ホール

どなたでも自由にご参加いただけます

主催：埼玉憲法会議（平和憲法を守る埼玉の共同センター）

さいたま市浦和区高砂 3-10-11 第一木村ビル4F 電話 048-836-2101